



昭和40年代ごろの田植え



現在の田植え

## 農業～水稲栽培～

稲作が盛んな東郷町。それは今も昔も変わりません。

でも、田植えや稲刈りなどその方法は大きく変わっているんだよ。昔は、農家の人が手で苗を植えたり、鎌で稲刈りしていたんだ。その後、昭和40年代にはトラクターや稚苗田植機、バインダーなどが普及して稲作栽培の労力がそれまでに比べて軽減したんだ。今では、さらに進化した乗用の田植機やコンバインなどが活躍しているんだ。

町では、東郷町産のおいしいお米をごはんとして食べるだけではなく、米粉のオムレットやお米のタルトなどのスイーツにも使用し町の特産品にしようと取り組んでいるんだよ。



令和2年4月1日に、町制施行50周年を迎える東郷町。「町制施行50周年カウントダウン」では、町の歴史を築きあげた多くの先人のためまめ努力に感謝し、町の魅力を再確認、再発見するため、町の誕生から50年間の歴史などを振り返ります。

## セントラル開発ニュース

### 工事のお知らせ

今秋の（仮称）ららぽーと愛知東郷町のオープンを見据え、その周辺で整備している道路も完成が近づいています。

今後、順次に供用していきますが、まずは、右の図に示す区間で新しい道路への切替えを行いますので、お知らせします。

**時** 2月末頃

**内** 和合ヶ丘・新池線の現道工事に伴う新しい道路への切替え

**場** 和合ヶ丘・新池線

（尾三消防本部東郷消防署の前）

※詳しくは、町ホームページをご覧ください。



©問い合わせ セントラル開発課 ☎0561・56・0748